

ご挨拶

転出者よりご挨拶



今年度は4名の先生方が、白人小学校を離れることとなりました。転出される先生からのメッセージを掲載いたします。

なお移転先については、管理職については3月24日、一般職については3月25日に新聞発表がございますので、そちらをご確認ください。

教頭 荒木 成宜（異動）

白人小学校で過ごした3年間、運動会や学習発表会などの行事では、多くの皆さまに力強く応援していただきました。また、リンク造成をはじめ学校の環境整備にも熱心に取り組んでいただきました。保護者・地域の皆さまのあたたかく力強い支えが、白人小学校の活気につながっています。教職員・地域・保護者が一体となって進められる教育活動のすばらしさを多くの場面で感じることができました。振り返ってみると、3年間はあっという間で、本当に多くのことを学ばせていただきました。本当にありがとうございました。

教諭 黒木 愛実

白人小学校に着任してから、早いもので7年が経ちました。温かい保護者の皆様に支えられ、子どもたちからたくさんの幸せをもらいました。かわいい子どもたちに出会わせていただき、ありがとうございます。ともに歩んだ日々は、私にとってかけがえのない宝物です。これからも、白人小学校の子どもたちが自分らしく生き生きと成長し、夢に向かって力強く歩いていきますよう心より願っております。7年間ありがとうございました。

養護教諭 笹原 和美（異動）

6年間、保健室を通して子ども達の笑顔や成長を見守ることができたことは、私にとってかけがえのない思い出となりました。最初の3年程はコロナ禍の中での学校生活となり、色々な制限などもありましたが、子ども達の前向きな姿や優しさにこちらが励まされる毎日でした。

保護者のみなさまにも、早退やケガなどの際には、お忙しいにもかかわらず快くお迎えに来ていただき、大変感謝しております。

白人小学校で出会った子ども達が、これからも元気で健やかに成長していくことを心から願っています。

教諭 島 訓子（異動）

コロナ禍から始まった白人小学校での勤務。分散登校や行事の縮小など、これからの学校生活はどうなるのかと不安な日々を過ごしていました。そんな中、子どもたちの笑顔や努力する姿に、何度も救われました。白人の子どもたちは、素直で優しい子がたくさんいます。きっと、保護者の方々がご家庭で愛情いっぱい育て送り出してくれているおかげだと思います。保護者の皆様には、PTA活動をはじめ、様々な場面で支えていただき感謝申し上げます。最後に、新天地でも、これまでの経験を生かして頑張ります。六年間、お世話になりました。あり